

## Press Release

2013年11月8日

メドピア株式会社

### 「インフルエンザ予防接種後の処置」について 66%は揉まないよう患者さんに指示している

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」(メドピア、<https://medpeer.jp/>) を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽 (医師)>は、会員医師を対象に「インフルエンザ予防接種後の処置」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「インフルエンザ予防接種後の処置」について (総回答：3,383人)

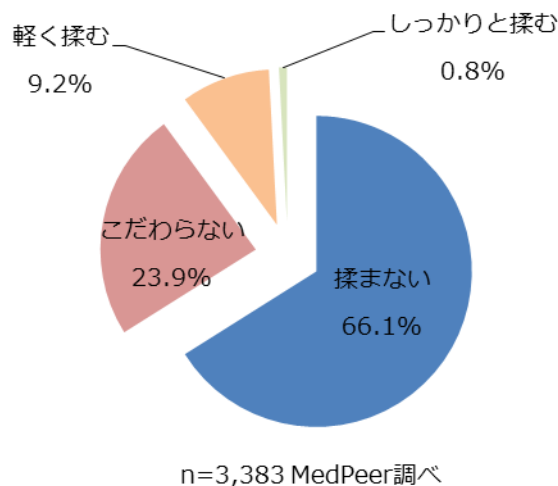
順位	回答	回答数(人)	占有率
1	揉まない(患者さんに揉まないよう指示している)	2,235	66.1%
2	揉む・揉まないにこだわらない(患者さんに指示していない)	807	23.9%
3	軽く揉んでいる(患者さんに軽く揉むよう指示している)	313	9.2%
4	しっかりと揉んでいる(患者さんにしっかりと揉むよう指示している)	28	0.8%
-	合計	3,383	100.0%

#### サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer (メドピア) に登録する医師 (6万人以上) を対象に「**インフルエンザ予防接種後の接種部位は揉むのでしょうか?**」という質問をしたところ、**3,383**件の回答が寄せられた。
- 「揉まない (患者さんに揉まないよう指示している)」と回答したのは、全体の66.1%。「昔はもんでいたが、今はもまない」というコメントが多くみられる。揉むと「腫れやすい」「アレルギー反応を惹起する」「液漏れが出る」といった理由が挙げられた。
- 「揉む・揉まないにこだわらない(患者さんに指示していない)」は23.9%。「患者さんに特に指示はしていない」「軽くおさえる程度」といったコメントがみられた。
- 「軽く揉んでいる(患者さんに軽く揉むよう指示している)」は9.2%で、「痛みが軽減するので」「ガイドラインに従っている」「もまないと、硬結がしやすい」といった意見がみられた。最近になって揉まな

という考え方が主流になったようだが、「今までの習慣で揉んでいる」という回答もあった。

## ▼総合結果



## 回答コメント（回答一部を抜粋）

### 「揉まない(患者さんに揉まないよう指示している)」 2,235件

- ・揉まないように指導しています。接種後は軽くおさえるだけにさせています。(50代、一般内科)
- ・揉むと腫れやすくなりますよ。(40代、一般内科)
- ・筋注は揉みますが、皮下注は揉みません。(50代、形成外科)
- ・接種部位に刺激を加えない方が宜しいかと思えます。(40代、整形外科・スポーツ医学)
- ・以前は揉んでいましたが、今は揉みません。揉まなくてもいいと患者に指導しています。(50代、麻酔科)
- ・止血のために押さえるのみ、接種部位を揉んで吸収を促進させる必要はないのでは？(40代、血液内科)
- ・皮下注射ですからそもそも、もむ有用性のエビデンスはありません。高齢者が多いので、もむとかえって液漏れが出ることがあります。(60代、一般内科)
- ・揉んだら腫れます。ですから揉まないように申し伝えていきます。(50代、小児科)
- ・揉むと局所の副反応が増える印象です。(50代、消化器外科)
- ・もむとアレルギー反応を惹起するようになりますが。(50代、消化器内科)
- ・局所の炎症が強くなる傾向がありますので、もまないように指導しております。(50代、消化器内科)
- ・ここ2～3年くらいでしょうか、揉まないほうがよいという意見が多数派のようで、私も以前は揉んでいたのですがここ2～3年は揉みません。(50代、精神科)

### 「揉む・揉まないにこだわらない(患者さんに指示していない)」 807件

- ・特に揉むようには指示はしていませんが、患者さんが揉んでいることもあるので、それでも大丈夫ですよ。と答えています。(30代、一般内科)
- ・こちらでは揉みませんが、患者さんに特に指示はしていません。(30代、精神科)

- ・揉まないことになっていますが、何も言わないことが多いです。聞かれたら答えています。(30代、精神科)
- ・軽く抑えてパッチを当てています。(60代、一般外科)
- ・何も指示しませんが聞かれれば軽くもむように言っています。(40代、整形外科・スポーツ医学)
- ・以前はもむように言われていましたが、近年揉まないように指導されています。どちらも多分根拠がないと判断しています。(60代、麻酔科)
- ・軽く抑える程度で強くは揉まない。(60代、消化器内科)
- ・特にこだわりや決まった方針はありませんが、接種部位をしばらく強くにぎっておいてあげると痛みを緩和できている気がします。(40代、小児科)
- ・揉む力加減を理解しない患者が多いので指示はしない。(60代、精神科)
- ・慣習的に揉む人が多いようですが、理由がわからないので特に指示はしていません。(40代、産婦人科)

## 「軽く揉んでいる(患者さんに軽く揉むよう指示している)」 313件

- ・軽く揉んでいるが、患者にはもう揉む必要はないと指示している。しかし揉む理由は判然としないですね。(50代、一般内科)
- ・固結をいやがる患者がいますので、軽く揉むように指示しています。(60代、一般内科)
- ・これまでの慣例もあり、接種直後に軽くもむようにしています(50代、一般内科)
- ・基本的にガイドラインに準じて対応しています。(50代、一般内科)
- ・接種直後だけ軽く揉んで、それ以上は揉まなくてよいと指示しています。(60代、小児科)
- ・揉む揉まないでアレルギーの頻度が変わるとは思えません。疼痛緩和のために軽く揉むよう指示しています。(40代、整形外科・スポーツ医学)
- ・痛みを抑えるためにも、また早めに拡散させるためにももむように指示している。(60代、皮膚科)
- ・あまり揉みすぎると、ワクチンが血管内に侵入することで、アナフィラキシーの発生頻度が高まり、揉まないと局所の腫れが強くなるので、軽く揉むように指導しています。(50代、一般内科)
- ・揉まない方が良いのですが、あとで局所の硬結ができた、とか言われないように気持ちだけ少しかき揉みます。(60代、代謝・内分泌科)
- ・自分が接種された直後に揉まないと痛かったり、かゆみを感じますが、軽くもむと軽快するので。(40代、循環器内科)
- ・筋注の時はもむべき、皮下注射は揉む必要はないと思います。揉んではいけない薬剤もある。(50代、腫瘍内科)
- ・刺し口から液がもれるのであまり強く揉まないようにしています。(30代、消化器外科)

## 「しっかりと揉んでいる(患者さんにしっかりと揉むよう指示している)」 28件

- ・ワクチン接種部位の疼痛があるためしっかりと揉んだほうが後の疼痛が少ないため指導している。(50代、一般内科)
- ・接種部しっかりと揉まないと固結になることが多いので、揉ませている。(50代、一般内科)
- ・後で痛くなることがあるので揉んでいます。(60代、皮膚科)

## ※調査方法

### □期間：

2013年10月4日（金）～ 2013年10月10日（木）

### □有効回答：

3,383人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

### □設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

## 調査フォーム（設問文 抜粋）

インフルエンザ予防接種後に接種部位を揉むか揉まないか、悩んでいます。

インフルエンザのガイドライン上では、「接種直後に同部位を液が漏れ出ないように注意しながら数回揉む」という記述があります。

### ■参考：インフルエンザ予防接種ガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/tp1107-1e.html>

その一方で、揉むなという意見も耳にします。これは、揉むことにより、ワクチンが急速に拡散し、血管内にワクチンが侵入する可能性があるためです。ワクチンが血管内に侵入することで、局所反応やアナフィラキシーの発生頻度が高まる、というわけです。

インフルエンザの予防接種は、恒例の医療行為の為、揉む・揉まないの判断に困っております。

皆さまは予防接種後の接種部位は揉んでいますか。以下の選択肢から適当なものをご選択いただき、その理由についてコメント欄にご記入ください。

1. しっかりと揉んでいる(患者さんにしっかりと揉むよう指示している)
2. 軽く揉んでいる(患者さんに軽く揉むよう指示している)
3. 揉まない(患者さんに揉まないよう指示している)
4. 揉む・揉まないにこだわらない(患者さんに指示していない)

## 【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

## 【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

## ■ MedPeer (メドピア) とは - 2013年9月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです (URL: <https://medpeer.jp/>)。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、“臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 6 万人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 1,900 の医療用医薬品に対して、26 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上